

Vol.  
**3**

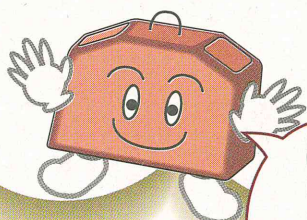
平成12年2月



**ごみゼロ社会をめざそう**

発行：日野市環境共生部リサイクル推進課  
☎581-0444

**市長による  
ごみ改革説明会開始(4面)**



**ダストボックスから**

ばいばい！



あとは  
まかせてよ！

**指定袋へ！**

**二〇〇〇年一月一日から  
ごみの出し方が変わります**



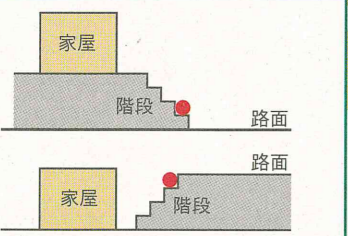
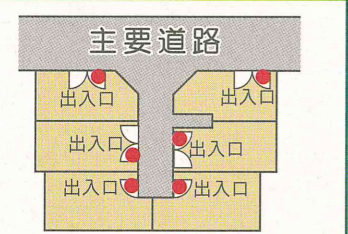
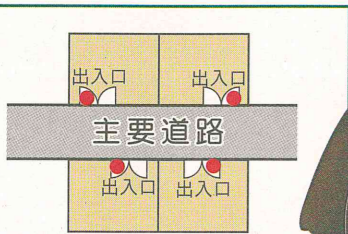
# ごみ出しは10月から市指定の袋で

## 市指定収集袋の価格(案)

10%	20円/1枚
20%	40円/1枚
40%	80円/1枚
事業所用 (45%)	300円/1枚

(可燃用・不燃用ともに)

なるほどー



● 排出場所

## 可燃ごみ



週2回収集

## 不燃ごみ



週1回収集

## 資源物



2週に1回収

「ごみの出し方は  
どうなるんだろう?」



10月から始まる新しいごみ改革に向け、3月の定例市議会では条例改正などを議論していただき、4月からは実施に向けての本格的なスタートとなります。

## 審議会答申を受けて市指定袋の導入を検討

昨年の6月29日、日野市廃棄物減量等推進審議会は「廃棄物処理費の住民負担」について「可」とする答申を市長に提出しました。この答申を受けて、市は「ごみ減量・リサイクル推進」のためにどのようなシステムを確立すべきか、検討を重ねてまいりました。ごみ袋の価格は、ある程度の負担感がなければ減量には結びついていかないという考え方で次ページのような値段を提案しています。これは一家庭4人の標準世帯で、月500円程度の負担を基準に設定したものです。

## 具体的なごみの出し方は?

可燃ごみの収集は週2回、不燃ごみは週1回になります。リサイクルできる資源物は曜日を決めて隔週で

収集に伺いますが、今までの「発泡トレー」に併せて塩化ビニール製のボトルも収集の対象とし、一緒に家庭にあるスーパ器等のレジ袋などに入れて出していただく予定です。また、雑誌といっしょに出せる紙と出せない紙があるなどの細かな分別方法については、9月に配布予定のカレンダー等でお知らせしていきます。次に、これまで「有害ごみ」として出している電池・蛍光灯・体温計は、不燃ごみの収集時に併せて収集しますので、別袋でそれとわかるように出してください。

## 仮想カレンダー

月	火	水	木	金	土	日
1 可	2 不	3 新聞紙	4 可	5 かん	6	7
8 可	9 不	10 ペットボトル	11 可	12	13	14

土・日は収集しません。  
収集日が祝日にあっても収集します。(年末年始は除く)  
※今年の9月にはこのようなカレンダーを全戸配布します。

計画的に出そうね



## ごみや資源の排出場所は?

戸建て住宅の排出場所は左図のようなイメージになります。いずれの場合も、この4月から「ごみ相談パトロール隊」が調整に伺いますので、排出場所の設定について、ご協力をお願いします。

エコー第2号でもお知らせしたとおり、集合住宅では排出場所を決めていただくこととなります。

## 10月直前の「かけ込み」のごみ出しは厳禁!

10月からは指定袋になるということで、どうしても今のうちに出してしまおうという心理が働きます。8月、9月の短期間に集中しますと、クリーンセンターではごみを処理し切れません。

市の不燃ごみ処理能力は、一日に50トンが限度です。現在約40トンの不燃ごみが収集されていますが、かけ込みで60〜70トンになると、50トンを超えたごみが処理しきれなくなり、物置や押入れなどに眠っているものを出す方は今から計画的に出してください。

## ガスボンベなどの恐ろしい爆発が多発しています!

最近、中身入りガスボンベの爆発事故が絶えません。卓上カセットコンロのガスボンベなどは、必ず使い切った不燃ごみとして出してください。クリーンセンターでは、度々これらの爆発で機械が故障しており、また、大きな事故は人命をも危機にさらすこととなりますので、ご協力をお願いします。

## 「ごみ袋購入」ごみ減量のために必要ですご協力ください

## 袋の購入は市民への新たな負担のおしつけでは?

国や都・市も財政難の折、様々な公共料金などが値上げされる現状です。こうしたときにごみ袋の購入を提案するのは辛いことです。

しかし、袋の購入は一律に市民に負担をお願いするものではなく、ごみを減量すれば負担は少なくて済みます。大切なことは、市民一人ひとりにごみの減量を意識していただくことであり、袋代はできるだけ負担をかけた額として、月平均五百円程度を提案させていただきます。

ごみは努力すれば減らせるものです。環境を大切にいく上でも是非ご理解をいただき、ごみの減量とリサイクルにご協力をお願いします。

## 「ごみ袋購入」反対意見もありますが...

## 有料化しても一時的な減量にしかならないのでは? 不法投棄も増えるのでは?

指定袋有料制だけでなく、ダストボックスの廃止、戸別収集と併せて実施することにより、継続的にごみ減量・リサイクルが進みます。

又、市では環境教育に力を入れたり、市民への継続的な啓発活動などで、フオローを続けていきます。

一例として、4月からごみの出し方や分別方法などの相談専門のごみ相談パトロール隊を結成し市内を巡りますので、気軽に声をかけて下さい。

そして今後、剪定枝のチップ化や生ごみの堆肥化事業にも取り組み、継続的にごみ減量を図っていく計画です。



# ごみ改革説明会の日程

市長による「ごみ改革」説明会を、昨年は5～6月にかけて行いましたが、今回第2回目の説明会を行います。

2000年10月から大きく変更するごみの出し方や、市指定のごみ袋を買っていただくこと(予定)などについて説明いたします。市民一人ひとりの日常生活に直結する大切なことですので、ご都合のよい日にぜひご参加ください。

## ごみ減量等説明会日程表

日付	会場	時間
2/6 (日)	七生中学校食堂	10:00～12:00
2/7 (月)	JA東京みなみ七生支店3階講堂	19:00～21:00
2/8 (火)	第二中学校食堂	19:00～21:00
2/9 (水)	第三中学校食堂	19:00～21:00
2/12 (土)	第四中学校食堂	19:00～21:00
2/13 (日)	クリーンセンター3階会議室	10:00～12:00
2/14 (月)	三沢中学校食堂	19:00～21:00
2/15 (火)	平山中学校食堂	19:00～21:00
2/17 (木)	第一中学校食堂	19:00～21:00
2/19 (土)	大坂上中学校食堂	19:00～21:00

※内容はどの会場でも同じです。都合のよい日にご参加ください。

※クリーンセンター以外の会場へは車でのご来場はご遠慮ください。

※スリッパをご持参ください。

※このエコーVol. 3をお持ちください。



この情報誌「エコー」は、環境(Environment)と協力する(Cooperate)の頭文字が皆さんのもとへ響き、それが大きな反響となって広がって行くことを願って名づけました。また、題字には、ごみがどんどん減って行き、最終的には0「ゼロ」に近づいて欲しい、という思いも込められています。

皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。